



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

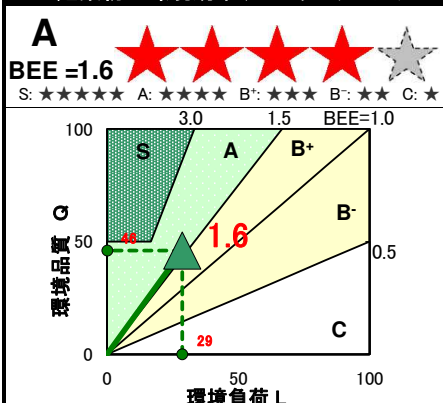
1-1 建物概要

建物名称	パナソニックエナジー株式会社住之江工場7号棟増設工事		
建設地	住之江区平林北1丁目		
建築用途	工場		
建築主	パナソニックエナジー(株)		
設計者	鹿島建設(株)		
敷地面積	2,813.96	m ²	
建築面積	2,336.82	m ²	
延床面積	7,917.95	m ²	
構造/階数	S造	/	地上4階
完了年(予定)	2024年10月		

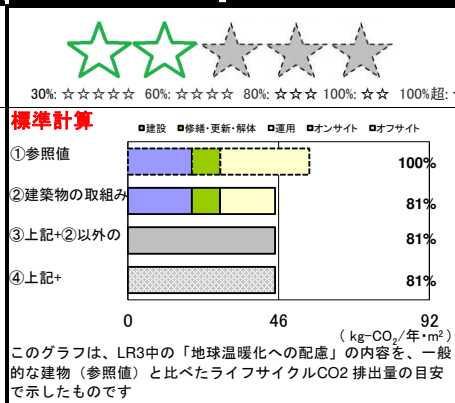
1-2 外観



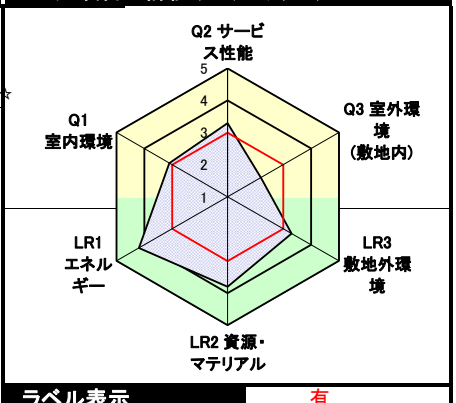
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



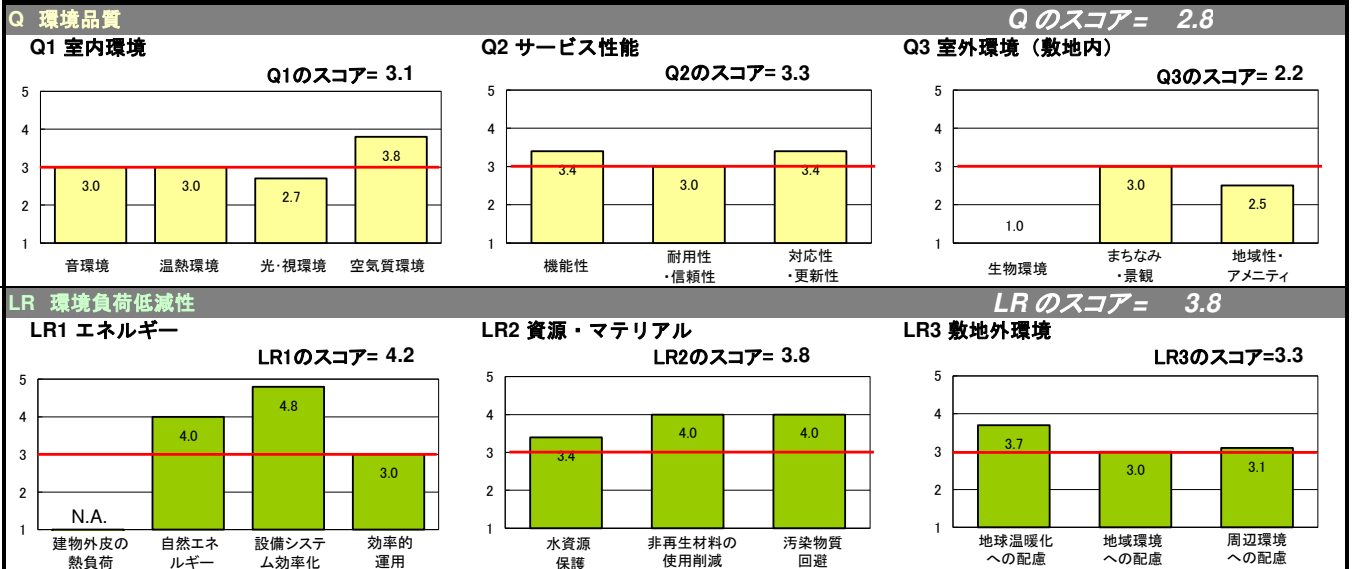
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 当該建物はパナソニックエナジー株式会社のリチウムイオン電池開発生産を行う住之江工場の実験棟である。高い断熱性に加え、全熱交換器を建物全体を通して積極的に取り入れる。		その他 特に無し
Q1 室内環境 最上階のオフィスへは開閉可能なトップライトを採用し、自然採光により良好な事務環境設計とする。また事務所エリアの空調機は加湿機能を有し空気質へも配慮する。	Q2 サービス性能 実験エリアと事務エリアを明確に分けた設計とする。事務室は一般的なものと比べ天井が高く設計されており、快適な空間形成となる。また屋外テラスを備え、作業者のリフレッシュにも配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺に視界を遮るものを設けない事で防犯性に配慮する。設備機器排熱が路上の歩行者等の不快にならないよう設計する。
LR1 エネルギー 自然エネルギー利用も行い省エネへ配慮する。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材、再利用可能ユニットの採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器の設置をさせる事で大気汚染に配慮する。適切な駐車、駐輪場を確保することで、周辺の渋滞緩和に寄与する。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.7 ライフサイクルCO ₂ 排出率＝81%
配慮事項	燃焼設備の設置を避けCO ₂ 排出量削減に寄与する。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0 特になし
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0 評価ポイント5
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0 評価ポイント3
配慮事項	各機器排熱に対して配慮する。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	0.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 0.0
配慮事項	対象外

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.8 BEIm=0.62
配慮事項	比較的高効率な設備システム設計を図る。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] -
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.62	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.62